

令和7年度上半期（4月1日～9月30日）印西地区消防組合一般会計予算執行状況

1. 上半期の執行状況

令和7年度の一般会計当初予算は、35億8,336万3千円で編成され、令和6年度に設定した繰越明許費895万9,000円を令和7年度に繰り越しているため、予算現額は35億9,232万2,000円となっています。

上半期における一般会計の歳入・歳出とその内訳や財産、地方債の状況についての詳細は、下表のとおりです。

2. 歳入の内訳

(単位：円・%)

区 分	予算現額	収入済額	収入率
分担金及び負担金	3,163,080,000	2,385,154,167	75.41
使用料及び手数料	2,902,000	2,521,800	86.90
国庫支出金	1,000	0	0
県支出金	1,000	0	0
財産収入	242,000	3,821,000	1578.93
繰越金	20,059,000	61,351,726	305.86
諸収入	3,437,000	10,137,384	294.95
組合債	402,600,000	0	0
合 計	3,592,322,000	2,462,986,077	68.56

3. 歳出の内訳

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2,427,000	57,840	2.38
総務費	320,000	27,000	8.44
消防費	3,263,549,400	1,407,685,098	43.13
公債費	307,819,000	142,393,234	46.26
予備費	18,206,600	0	0
合 計	3,592,322,000	1,550,163,172	43.15

4. 財産の状況（令和7年9月末現在）

土地	19,990.33 m ²
建物	7,921.11 m ²
物品（消防車両等）	42 台
基金	なし

5. 地方債の状況（令和7年9月末現在）

・地方債残高 1,565,926千円

6. 一時借入金の残高

・借入なし

令和 6 年度印西地区消防組合決算の概要

印西地区消防組合の令和 6 年度決算の概要について公表します。

1 決算規模

令和 6 年度の決算規模は、歳入総額 3 4 億 6 , 8 4 5 万 7 千円、歳出総額 3 4 億 7 1 0 万 5 千円となり、前年度と比較して、歳入で 6 . 8 % の増、歳出で 7 . 3 % の増となった。

《増額の主な要因》

(歳入)

- ・ 分担金及び負担金 (対前年度比 4 . 9 % 1 億 4 , 7 7 8 万 9 千円の増)
- ・ 国庫支出金 (対前年度比 2 1 7 . 1 % 3 , 1 5 3 万 7 千円の増)
- ・ 組合債 (対前年度比 1 4 1 . 0 % 1 億 1 , 7 2 0 万円の増)

(歳出)

- ・ 人件費 (対前年度比 1 0 . 5 % 2 億 3 , 3 3 0 万 1 千円の増)
- ・ 補助費等 (対前年度比 1 0 1 . 3 % 5 , 6 1 9 万 2 千円の増)
- ・ 普通建設事業費 (対前年度比 7 5 . 8 % 1 億 1 , 6 6 4 万 4 千円の増)

決算規模 (単位：千円・%)

区 分	歳 入	増 減 率	歳 出	増 減 率
令和 6 年度	3, 468, 457	6. 8	3, 407, 105	7. 3
令和 5 年度	3, 246, 728	△ 1. 2	3, 174, 786	△ 0. 3
令和 4 年度	3, 285, 924	4. 5	3, 184, 444	3. 6

2 決算収支

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、6 , 1 3 5 万 2 千円で前年度に対し 1 4 . 7 % の減となり、翌年度へ繰り越すべき財源は 5 万 9 千円、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、

6 , 1 2 9 万 3 千円で前年度に対して、1 4 . 8 % の減となった。

(単位：千円・%)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減 率	
歳入歳出差引	61, 352	71, 942	令和 6 年度	令和 5 年度
			△ 14. 7	△ 29. 1
翌年度へ繰り越すべき財源	59	0	皆増	皆減
実質収支	61, 293	71, 942	△ 14. 8	42. 9

3 歳 入

歳入は、34億6,845万7千円で、前年度に対し
2億2,172万9千円、6.8%の増となった。

(1) 分担金及び負担金（対前年度比 4.9%の増）

千葉県市町村総合事務組合負担金の増による。

(2) 使用料及び手数料（対前年度比 34.1%の増）

危険物規制事務関係手数料の増による。

(3) 国庫支出金（対前年度比 217.1%の増）

緊急消防援助隊設備整備費補助金による増。

(4) 県支出金（対前年度比 皆増）

消防防災施設強化事業補助金による増。

(5) 財産収入（対前年度比 51.8%の減）

売り払い車両数の減による。

(6) 繰越金（対前年度比 29.1%の減）

令和5年度実質収支額による減。

(7) 諸収入（対前年度比 92.6%の減）

退職手当の支給事務に要する一般負担金の還付終了による減。

(8) 組合債（対前年度比 141.0%の増）

消防車両更新整備及び指令システム全体更新事業負担金に係る借
入額の増による。

歳入の内訳

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額		構 成 比		増 減 率	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
分担金及び負担金	3,137,358	2,989,569	90.4	92.1	4.9	△ 1.8
使用料及び手数料	5,497	4,099	0.1	0.1	34.1	17.8
国 庫 支 出 金	46,062	14,525	1.3	0.5	217.1	△ 56.2
県 支 出 金	1,470	0	0.1	0.0	皆増	0.0
財 産 収 入	2,155	4,469	0.1	0.1	△ 51.8	351.0
繰 越 金	71,942	101,480	2.1	3.1	△ 29.1	45.4
諸 収 入	3,673	49,486	0.1	1.5	△ 92.6	△ 16.1
組 合 債	200,300	83,100	5.8	2.6	141.0	8.5
計	3,468,457	3,246,728	100.0	100.0	6.8	△ 1.2

4 歳 出

歳出は、34億710万5千円で、前年度に対し2億3,231万9千円、7.3%の増となった。

(1) 経常的経費

経常的経費は、31億3,658万6千円で前年度に対し3.8%の増となった。

増の主な要因は、千葉縣市町村総合事務組合負担金の増及び屈折はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール事業によるもの。

(2) 投資的経費

投資的経費は、2億7,051万9千円で前年度に対し75.8%の増となった。

増の主な要因は、白井消防署の救助工作車更新整備事業によるもの。

歳出の内訳

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額		構 成 比		増 減 率	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
経常的経費	3,136,586	3,020,911	92.1	95.2	3.8	2.2
義務的経費	2,782,872	2,594,931	81.7	81.7	7.2	2.5
人件費	2,451,649	2,218,348	72.0	69.9	10.5	2.0
扶助費	23,125	20,735	0.7	0.6	11.5	2.0
公債費	308,098	355,848	9.0	11.2	△ 13.4	5.8
物件費	225,448	184,614	6.6	5.8	22.1	△ 2.8
維持補修費	16,586	185,878	0.5	5.9	△ 91.1	5.4
補助費等	111,680	55,488	3.3	1.8	101.3	△ 2.8
投資的経費	270,519	153,875	7.9	4.8	75.8	△ 32.8
普通建設事業費	270,519	153,875	7.9	4.8	75.8	△ 32.8
補 助	92,124	29,050	2.7	0.9	217.1	△ 56.2
単 独	178,395	124,825	5.2	3.9	42.9	△ 23.2
計	3,407,105	3,174,786	100.0	100.0	7.3	△ 0.3

5 地方債等の状況

(単位：千円・%)

地 方 債	現 在 高		増 減 率
	令和6年度末	1,705,933	△ 5.7
	令和5年度末	1,809,522	△ 12.9

(単位：千円・%)

債務負担行為	未 払 残 高		増 減 率
	令和6年度末	417,878	△ 20.5
	令和5年度末	525,398	70.8

6 組合の財産（令和6年度末）

(1) 土地及び建物については、変動なし。

(2) 物品については、決算年度中において白井消防署に救助工作車及び指揮車、牧の原消防署に高規格救急自動車を更新整備した。

土地	19,990.33m ²
建物	7,921.11m ²
物品（消防車両等）	42台
基金	なし

7 一時借入金の状況

借入はありません。